651

(1)

静電気力Fと向心力F'は釣り合っているので、

ナトリウム光の振動数をνとすると、

$$\nu=\frac{c}{\lambda}$$
 より、
$$c=3.0\times 10^8\,m/_S\ ,\ \lambda=589\times 10^{-9}m\$$
 を代入して、
$$\nu=\frac{_{3.0\times 10^8}}{_{589\times 10^{-9}}}\\ =5.09\times 10^{14} Hz$$

(2)

$$\begin{split} E &= h \nu \; \text{LD}, \\ h &= 6.6 \times 10^{-34} \, J \cdot s \; , \; \nu = 5.09 \times 10^{14} Hz \\ E &= (6.6 \times 10^{-34}) \cdot (5.09 \times 10^{14}) \\ &= 3.36 \times 10^{-19} J \\ &= 2.10 \, eV \qquad \qquad (1 \, eV = 1.6 \times 10^{-19} J) \end{split}$$

(3)

1秒間に飛び出す光電子の個数Nとする。

1[A]は導体の断面を1秒間に1[C]の電流により流れる電荷であるので、

$$I=eN$$
 となる。

$$I=1.0\times 10^{-5}A$$
 , $e=1.6\times 10^{-19}C$ を代入して、 $1.0\times 10^{-5}=1.6\times 10^{-19}\cdot N$ $\therefore N=6.25\times 10^{13}$ 個